

令和4年度第3回滑川市地域公共交通会議 会議録

開催概要

- 日時 令和5年1月30日(月) 午後1時55分～午後3時12分
- 場所 滑川市役所東別館3階大会議室
- 出席者 委員16名

出席状況

委員名簿

令和4年度滑川市地域公共交通会議委員名簿

	選出区分	団体名		役職名	氏名	
1	学識経験者			富山国際大学名誉教授	長尾 治明	
2	住民又は利用者の代表	滑川市自治会連合会		会長	澤田 隆之	
3	住民又は利用者の代表	悠友クラブ滑川		会長	柿澤 清喜	
4	住民又は利用者の代表	滑川市小中学校PTA連合会		副会長	堀 さおり	欠席
5	住民又は利用者の代表	滑川市民生・児童委員協議会		会長	砂子 良治	
6	住民又は利用者の代表	滑川市観光協会		会長	早川 祐一	
7	住民又は利用者の代表	滑川商工会議所		専務理事	杉田 隆之	
8	一般乗合旅客自動車運送事業者の代表者	富山地方鉄道株式会社	自動車部運行管理課	課長代理	大野木 貴吉	欠席
9	一般貸切(乗用)旅客自動車運送事業者の代表者	株式会社佐々井タクシー		代表取締役	高川 妙子	
10	一般旅客自動車運送事業者の事業用自動車の運転者が組織する団体の代表者	富山県交通運輸産業労働組合協議会		議長	石橋 剛	
11	鉄道事業者の代表者	あいの風とやま鉄道株式会社	総務企画部企画課	課長	田中 博	欠席
12	鉄道事業者の代表者	富山地方鉄道株式会社	鉄軌道部運転管理課	課長	伊東 信男	
13	国土交通省北陸信越運輸局富山運輸支局長又はその指名する者	北陸信越運輸局富山運輸支局		首席運輸企画専門官(輸送・監査担当)	廣井 和幸	
14	国土交通省北陸信越運輸局富山運輸支局長又はその指名する者	北陸信越運輸局富山運輸支局		首席運輸企画専門官(企画調整担当)	山倉 澄雄	
15	富山県滑川警察署の職員	滑川警察署地域交通課		課長	若林 修	
16	富山県の職員	富山県交通政策局交通戦略企画課		課長	有田 翔伍	
17	富山県の職員	富山県新川土木センター		工務第一課長	川端 哲也	
18	滑川市の職員	滑川市副市長			柿沢 昌宏	
19	滑川市の職員	滑川市産業民生部長			黒川 茂樹	

- 事務局(滑川市産業民生部生活環境課内)
相沢課長、小善係長、志鷹係長

会 議 次 第

- 1 開 会
- 2 会長あいさつ
- 3 座長あいさつ
- 4 協議・報告事項
【協議事項】滑川市地域公共交通計画の素案について
【報告事項】地域公共交通確保維持改善事業・事業評価（計画策定等に係る事業）の富山運輸支局への提出について
- 5 閉 会

会 議 録

1 開会

【事務局】

ただいまから、「令和4年度第3回滑川市地域公共交通会議」を開催いたします。
本日進行を務めさせていただきます、生活環境課長の相沢でございます。どうぞよろしくお願いたします。

～委員の紹介～

なお本日は、堀委員、大野木委員及び田中委員におかれましては都合によりご欠席との連絡を受けております。

～会議資料の確認～

それでは、会議に先立ちまして本会議の会長であります、滑川市副市長の柿沢が皆様方にご挨拶申し上げます。

2 会長あいさつ

～柿沢会長あいさつ～

【事務局】

それでは以降につきましては、座長の長尾委員にお願いしたいと思います。座長にご挨拶をいただいた後、協議・報告事項に移らせていただきたいと思います。どうぞよろしくお願いたします。

3 座長あいさつ

【長尾座長】

本日、雪の中また足元の悪い中お集まりいただきまして、ありがとうございます。いま会長から1回目、2回目の経緯についてご説明がありましたように、前回は事務局のほうで実施しましたアンケート調査の結果についていろいろとご質問・ご意見をいただき、本当に活発な意見交換ができたと思います。そのようなオリジナルな調査結果等を踏まえて、滑川市地域公共交通計画「素案」という形で提案されています。今回の会議は、この素案について、前回と同じように色々な角度から忌憚の無いご意見を各委員の皆様からご指摘いただければ、とっております。私は県のほうの会議にも参加しているのですけれども、県のほうも4つの部会があるのですけれども、方向性・基本方針といったものが策定され、具体案、どうやって実施していくかという部会が今後2回ほど開催される予定です。前回、私が担当しております「サービス連

携高度化部会」で、外部の方である先生が分析された資料の一つなのですけれど、バスにおいても定時性、時間通りに来ると、それに対して利用者がどう受け止めていくかという質問項目が一つ紹介されていたのですが、バスにおいても利用者にとっては、5分以内なら我慢できる、許容範囲内、それ以上になるとダイヤの連続性などに影響を及ぼしていくような結果が提示されていました。5分という時間をどう捉えるかということだと思ふのですけど、特に待ち時間というのは、交通機関の利用者にとっては、大きな、心理的なファクターになっている、ということがその分析結果に示されているのではないかな、ということだと思ふます。交通事業者が定時性をきちっと守ることによって、これが経済的に効果・費用の節約にも連動していくという結果も示されていました。その担当者の方は、バス路線の利便性・快適性、その方向を目指すには、今後どうしていったらいいかという具体的な対策を練るために、いま各地のバス路線の分析をされているので、その一部の紹介を受けた次第です。やはりその担当者の方も仰っていましたけど、データにちゃんと基づいてやれることをやる、ということですね。こういうことがこれから必要ではないかなと、根拠をしっかりと取り出してそれを利用者にとって快適にまたスムーズに乗り継ぎができるように考えていく。各地域交通において、共通して言えることではないかなと思ふます。滑川市地域公共交通計画素案においても事務局からこのあと説明がありますので、利用者の立場に立って考えていただければと思ふます。

4 協議・報告事項

【長尾座長】

それでは協議に入ります。お手元の議事次第に従いまして、進めていきます。まず次第4報告・協議事項・滑川市地域公共交通計画の素案について、事務局に説明をお願いいたします。

【事務局】

協議事項・滑川市地域公共交通計画の素案について

～ 事務局説明 ～

【長尾座長】

のべ53ページにわたる素案でありましたが、いま事務局から詳細に説明いただけたかと思ふます。この後は素案につきまして、各委員の質疑、応答という形で進めていきたいと思ふます。お気づきの点、ご質問等を最初にいただければと思ふます。ページは言っていただいて、委員の皆さんにわかるように。前回と同じようにご指名はしませんので自由にご発言いただければと思ふます。

【杉田委員】

滑川商工会議所でございます。今回の素案につきましては、事前にいただきまして目を通させていただきました。私としては、現状の把握、それから問題点・課題について、今後の施策・目標と非常によくまとまっている計画だというふうに思っております。そういう中で今までは利用者数が、総じてここ数年は右肩下がり。その中でコロナが追い打ちをかけた、というような形になっております。今後はコロナ前までに戻したい、ということですが、ご承知のとおり2025年にはいわゆる「団塊の世代」の方々が75歳を超えてこられるということで、高齢者の人数も非常に多くなってくる中で、もちろん元気な方で、車の運転もされる方もいらっしゃるけれども、一定数で免許を返納される方も出てくるということが想定されるわけですね。

ども、その辺のいわゆる「団塊の世代」の方々が増えていらっしゃるという数字が、何か加味されているというか、その辺をお伺いしたい。

【事務局】

正直な話を申しますと、「団塊の世代」については、注意深く見ておらず、それについて注視した計画にはなってございません。

【杉田委員】

今後利用者数を少しでも増やす、という中で「団塊の世代」の方でより使われる方は確かだと思えますので、そういう方々にとっても重要な足というふうに認識はしておりますので、是非また計画の中でそういう点も示してもらえればなと思っております。それともう一つ、デマンド交通の件です。今回も検討していく、ということでございますけれども、これは意見と言いますか、要望と言いますか、試行で試験運用をされる際に、既存の市内の業者の方で、その中で車両を持っておられる、ということでそういった方々にも協力していただくと、その結果需要が見込めるようなら車両台数を増やす、といったことも検討していただければなと思っております。デマンド交通についてもですね、あるかないかはなかなかわかりませんが、全国的には成果をあげておられる自治体もあるやに聞いています。是非計画にある調査・検討をお願いしたいと思います。

【長尾座長】

ありがとうございました。2点質問をいただいたのですが、「団塊の世代」に対する対策というか、このあたりいま事務局から説明がありましたが、この素案では「団塊の世代」の記録に関しては、考慮はされていないという見解でしたが、「団塊の世代」——利用者数の増加にとってはプラスの要因になっていくものになりますけれど、やはり滑川市においては、「団塊の世代」の人口増加或いはこういうような傾向にある、ということを含めて、「団塊の世代」に対しても対応をしっかりと考えていくというような大切な主張ではないかなと思われましたので、「団塊の世代」だけの統計という数字を補足するのは大丈夫でしょうか？

【事務局】

何ができるのか検討させていただきたいと思っております。

【長尾座長】

「団塊の世代」——今後どのような人数になって、どのような占有率になっていくか調べて、その対応を主張して、公共交通の中で考えていくことをお示していく。再度検討をお願いします。デマンド交通に関しましては、社会的な動きもありますので、今後試験運用にあたって、どのようなメリット・デメリットがあるのか、それに関しては最初は地域を絞って具体的なモデルケースとして滑川市内においても検討していく必要があるのではないかなと思っております。どうもご指摘ありがとうございました。

【事務局（補足説明）】

いまのデマンド交通の関係なのですけれども、説明が足りなかったと思っております。メリット・デメリットそれぞれあると思うのですが、デマンド交通の実際の運行の仕方についても、新たな運行形態として、どういった方法でやっていくのか、についても事務局にて検討したいと考えています。現在市コミュニティバス「のる my car」は

マイクロバス車両にて、予備車を含め計5台で運行しております。この車両を用いて、例えば時間帯においてデマンド交通、という形をとるのか、まったくある一定のルートだけ、とするのかまたは、フルデマンドという形で、現在の定時定路線ではないような形で、どういった形態をとって、デマンド交通を滑川市としてやっていくのか、ということを含めまして検討させていただきたいというところでございます。事務局としては具体的なデマンド交通のビジョンはいまのところお示しできませんので、皆さんが考えていらっしゃるデマンド交通は一体どういうものか、ということも含めまして新たな運行形態の検討という形としてまとめさせていただきたいと思っております。

【長尾座長】

補足説明ありがとうございます。今の事務局の説明に対していかがでしょうか？先程ご質問いただいた杉田委員、ご意見ございますか。

【杉田委員】

いえ、あの今後についてはよろしくお願ひしたいと思っております。

【長尾座長】

ではいまデマンド交通については、方向性を説明していただきましたが、今後説明いただいたような視点から検討していくと。また違う視点があれば事務局のほうで対応していくということですので、委員の皆さんも何かこういうような視点のデマンド交通の在り方について検討して欲しい、というご意見あれば事務局へご提示いただければと思います。その他いかがでございましょうか？

【山倉委員】

富山運輸支局山倉と申します。私どもとして計画の策定件数を増加させることを政策目標としておりまして、所管する立場として大変ありがたいなと思っております。計画ですので、素案でこの後原案をつくって策定、という流れになると思うのですが、計画をつくって、良い計画ができたなと思って安心して終わるということがないでしょうけれども、やはり実施してこそすごく重要なものであるのかなと思っております。計画策定として実行性として毎年評価検証されていくような、一番最後のページだったかと思うのですが、そうされていくようなスケジュール感で思っております。毎年評価検証していただいて、何がやってみるとどうだったのか、というところを検証して、必要に応じて見直しをされていくというふうに思っておりますので、引き続き大変になるのかなと思っておりますし、事業内容の数が多く、その中で滑川市さんが実施する事業が多いのかなと思っております。是非、計画の範囲内のものであればできるだけ実施していただいて、毎年やってみてどうだったのか、できなかったのならなぜできなかったのか、こういったことを見ることで、より計画だけでなく実施していくことが重要かと思っておりますので、是非やっていただけるとありがたいなと思っております。計画の中身の点で言いますと、少し気になったのが41ページになるのですが、公共交通全般の利用状況ということで課題が載っています。この中で収支率が落ち込んでいる、計画の中にもあったと思うのですが、コミバスを含めて収支が、確か県平均が17%と仰られたかなと。滑川市が13%だというお話をされていたかなと。そこが課題だという話であれば、いわゆる目標の指数と申しますか、目標の中でも利用者数が、という話もあったかと思っておりますが収支率も目標に入れてもいいんじゃないかなという……ダイレクトに流れが上がるのがわかるんじゃないかなということになるのかなと思っておりました。私からは以上です。

【事務局】

ありがとうございました。まず1点目、実施していくことが重要だ、というご意見を頂戴しておりまして、この度の計画策定にあたりまして、具体的な事業につきましては、なるべく毎年度検証を行っていく上で、実際に我々としてでき得るであろうものについて事業内容として載せさせていただいております。なので実施に向けて取り組んでいくという姿勢でもってこの計画を策定しようというふうに思っております。もう1点、ページ数で言いますと45ページになろうかと思っております。基本目標の達成有無を評価する指標施策目標値というところで設定させていただいております。こちらのほうに収支率の記載について、をどのように入れていけばいいか、ということで今後検討した上で、原案に反映させるようにしていきたいと思っておりますので、検討の時間を頂戴したいと思います。

【長尾座長】

最初のほうに事務局への激励をお言葉をいただきありがとうございました。実施に関しては素案の中に明示されておりましたけれども、PDCAで実施をちゃんとチェックして、毎年度改善していくという考え方が記載されていますので、確実に行っていただけると信じています。どうもありがとうございました。

【長尾座長】

素案に対する質疑は以上とさせていただきたいと思っております。最終的に伺いたい点が2点ございます。いまほどもご質問・ご意見いただいて、この素案に対して変更を伴ってくる箇所或いは必要になろうかとも思っておりますので、本日協議していただきました素案について最終的に今後ご意見が出てくるかも知れませんが、座長に一任いただいて、事務局と協議の上原案の作成事務に努めていきたいと思っておりますので、その方向でご異議は無いのか、ご判断をお願いしたいと存じます。お任せいただけますでしょうか？

～（「異議なし」と呼ぶ者あり）～

【長尾座長】

では、各委員の皆さんにご了解をいただきましたので、変更・修正等に関しましては、私が責任を持って事務局と協議をして最終的にまとめさせていただきます。では次の報告事項になりますが、地域公共交通確保維持改善事業・事業評価（計画策定等に係る事業）の富山運輸支局への提出について、を事務局から説明をお願いします。

【事務局】

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価（計画策定等に係る事業）の富山運輸支局への提出について

～ 事務局説明 ～

【長尾座長】

ちょっと確認なのですが、この提出は12月28日現在になっています。協議題の素案について、今日検討して、この後パブリックコメントを踏まえて正式に決定していくわけなんですけど、地域公共交通計画は、運輸支局へ4月以降に提出する、という形になるわけですね。

【事務局】

そうです。

【長尾座長】

ありがとうございます。これに関してご意見等ございませんでしょうか？それでは他にご質問・ご意見等が無いようですので、報告事項とさせていただきます。本日は協議事項1点と報告事項1点、以上ですべて終了いたしました。大体予定の時間までに終了することができました。各委員の皆様のご協力ありがとうございました。ではこの後に関しましては、事務局のほうへマイクをお返ししたいと思います。

5 閉会

【事務局】

長尾座長どうもありがとうございました。

事務局のほうから改めての確認と言いますか、今後の日程についてご説明をさせていただきます。先程協議事項の際にもございましたが、本日頂戴しましたご意見等を踏まえまして、本日お示ししております素案につきまして所要の修正等させていただきますと思います。その際には先程座長のほうから仰られましたとおり、座長と事務局と協議の上、素案ということで固めさせていただきますと思います。それにつきましては確認でございますが、来月の2月13日から3月10日までの間、市民の皆様幅広く公表いたしましてパブリックコメントということで市民の皆様からの意見を聴取する手続きを行いたいと思います。そちらのほうで出たご意見を踏まえまして最終的な案としてまとめさせていただきます。3月中に今年度最後の地域公共交通会議を開催させていただきたいと存じます。そちらのほうで最終案をお示ししまして、委員の皆様の方にご審議を賜りたいと考えております。3月中の予定としてございますが、詳細な日程につきましては今後また調整の上ご案内をさせていただきたいと思っております。年度末等、皆様ご多忙の時期かと存じますが、出席につきましてご協力を賜りたいと存じております。それでは本日は長時間にわたりまして、ご審議いただきまして誠にありがとうございました。

以上を持ちまして、令和4年度第3回滑川市地域公共交通会議を閉会とさせていただきます。

本日はどうもありがとうございました。